

Title	編輯後記 三田史學會規約 奥付
Sub Title	
Author	鈴木, 泰平(Suzuki, Taihei)
Publisher	三田史学会
Publication year	1949
Jtitle	史学 Vol.24, No.1 (1949. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19491000-0132">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19491000-0132</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 編輯後記

復刊第五号の編輯を思ひがけず命ぜられたのは昨年四月であつた。従つて本誌が生れるまでには一年半の時日がかゝつてゐることになる。此の間に於ける内外の困難は一方ならぬものであつたが、本誌の発行もその影響を免れぬ訳にはゆかなかつたのである。

本号は予定した特輯を止めて普通号とし、主として轉換期に於ける諸相の究明を試みてみた。松本教授のを始めとする多くの論説は特異な分野を史学研究に開拓し得るものと信ずる。

此の中、古代日本人の世界観に就いて稿を寄せられた浅子勝二郎氏は文学部教授、現在史学科で古代思想史を講ぜられてゐる。朝鮮の土器について一文を寄せられた藤田亮策氏は御紹介するまでもなく本邦考古学界の長老である。

「オストラキスモス」と中世神祕思想の一端を論ぜられた文学部助手の森岡、神山両氏は若くして古代研究に献身されてゐる篤学の士である。

「一七八九年の革命」の著者ルフェーヴル教授は今更申し上げるまでもなくフランス史学界の元老、著者の好意に報いるため巻頭を其の著書で飾ることとした。発表に當つては余儀ない事情のため鈴木氏の解説論文の形式をとることとした。御諒承を願ひたい。

卷末の海外史壇紹介は戦前に於ても試みてゐたのであるが、今回復活することとした。入手し得る材料の関係で多くの方々の御協力を願へなかつたのは遺憾であるが、今後は此の欄の充実を計る意向である。

最後に四号まで本誌発行に盡力された鎌倉書房の方々に厚く感謝の意を表する。尚印刷上の手違から前号々数を二十四卷一号としたが、此れは二十三卷四号の誤りである。御訂正を御願ひすると共に改めて御詫び申し上げる次第である。

(一九四九・九・三〇 鈴木泰平)

## 史 學 第二十四卷第一號

昭和二十四年九月二十五日 印刷納本  
昭和二十四年十月一日 發行

定價 百五十圓

送料 二十圓

### 三田史學會規約

- 一、歴史學に興味と関心を有し通信用として会費年額金五十円也を納附されたる方を正会員とします。
- 二、会員は、本会発行の機關雜誌「史學」(年四回刊行)を購読し、其の他会本発行の各種の出版物を定価の一割引で優先的に購入することができます。
- 三、会員には、本会の主催する各種の講演会や展覽会などの都度御案内します。

編輯兼發行者 間 崎 万 里

東京都千代田区有楽町一ノ十三

印刷所 ラヂオ・プレス通信社

東京都港區芝三田二ノ二 慶大文庫部研究室内

發行所 三 田 史 學 會

電話 三田 400 一八六  
町替口 東京 五八三五二番